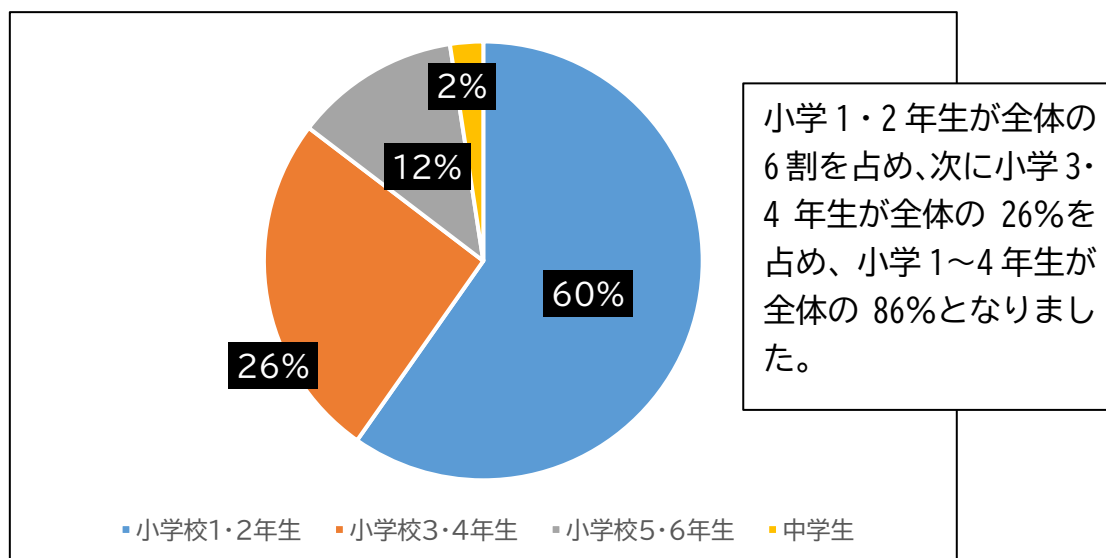


アンケート結果（小学生以上向けワークショップ編）

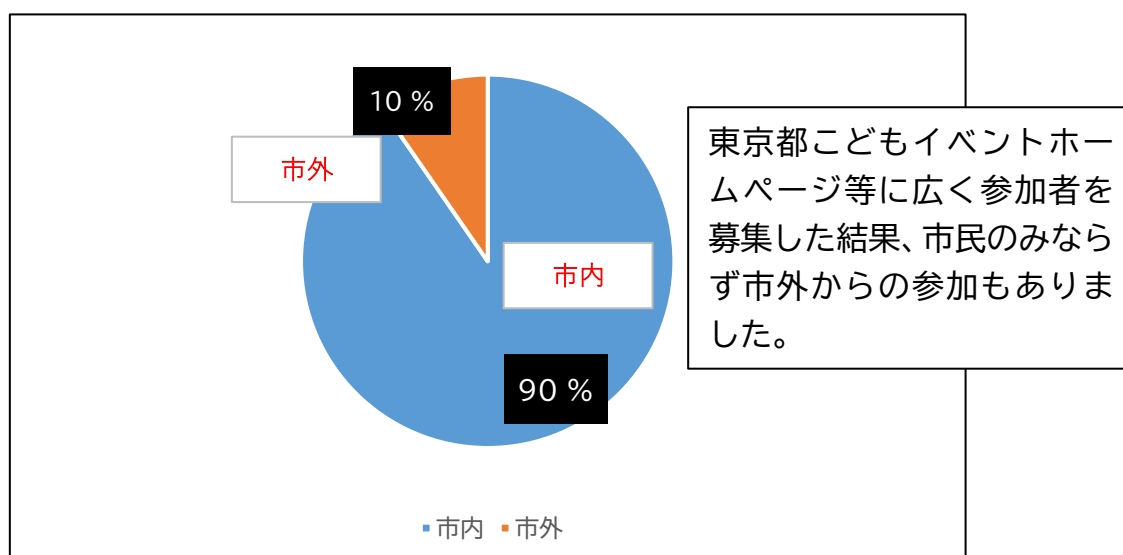
今後のイベントの参考にするため、こどもたちとえがく市役所ガラスアートプロジェクト小学生以上向けワークショップ参加者へ電子アンケートを実施しました。

調査期間	令和8年3月20日（金・祝）～3月21日（土）
参加者数	87人
有効回答数	87件
有効回答率	100%

問1 あなたの年齢（学年）を教えてください。＜回答者数：83人＞

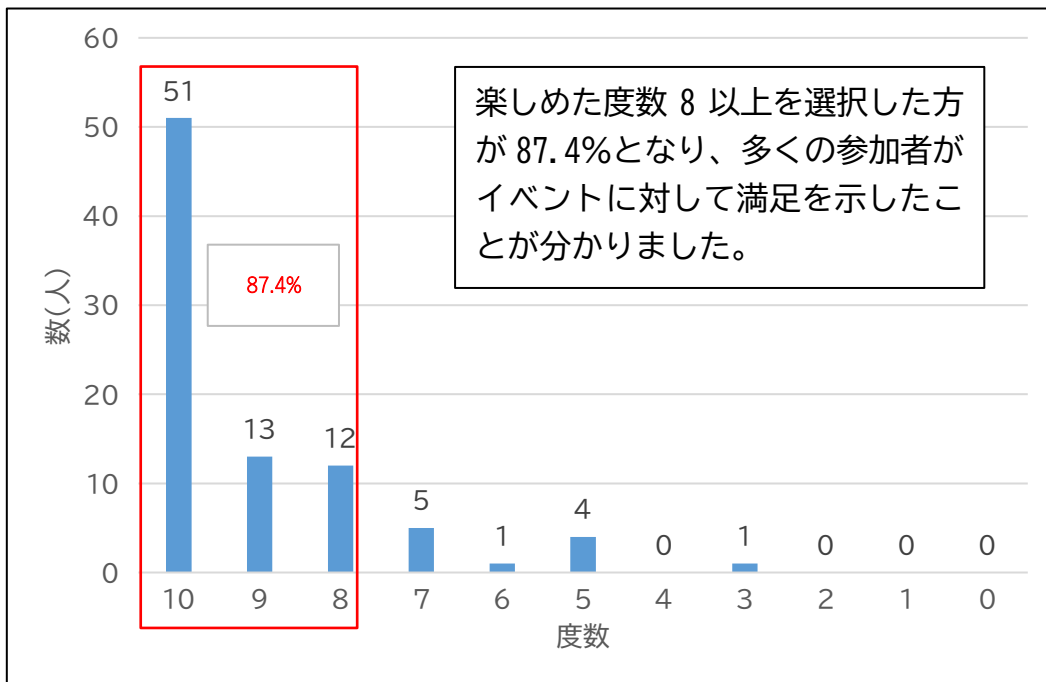


問2 あなた（お子さん）のお住まいを教えてください。＜回答者数：82人＞



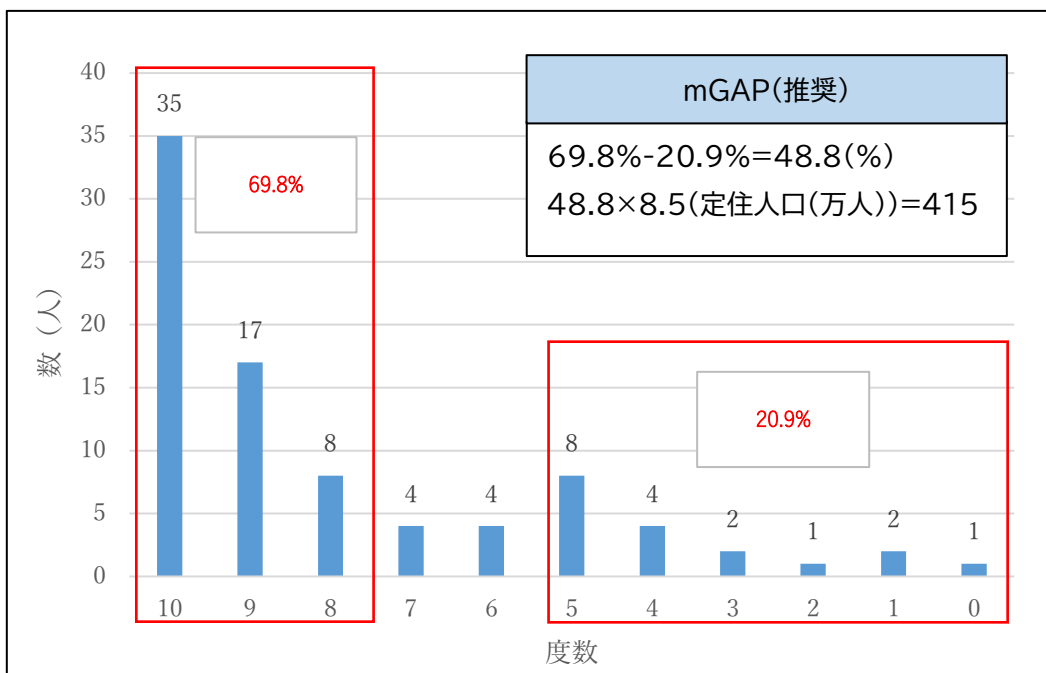
問3 あなた（お子さん）は、このイベントを楽しめましたか（楽しめた度数を選択）

<回答者数：87人>



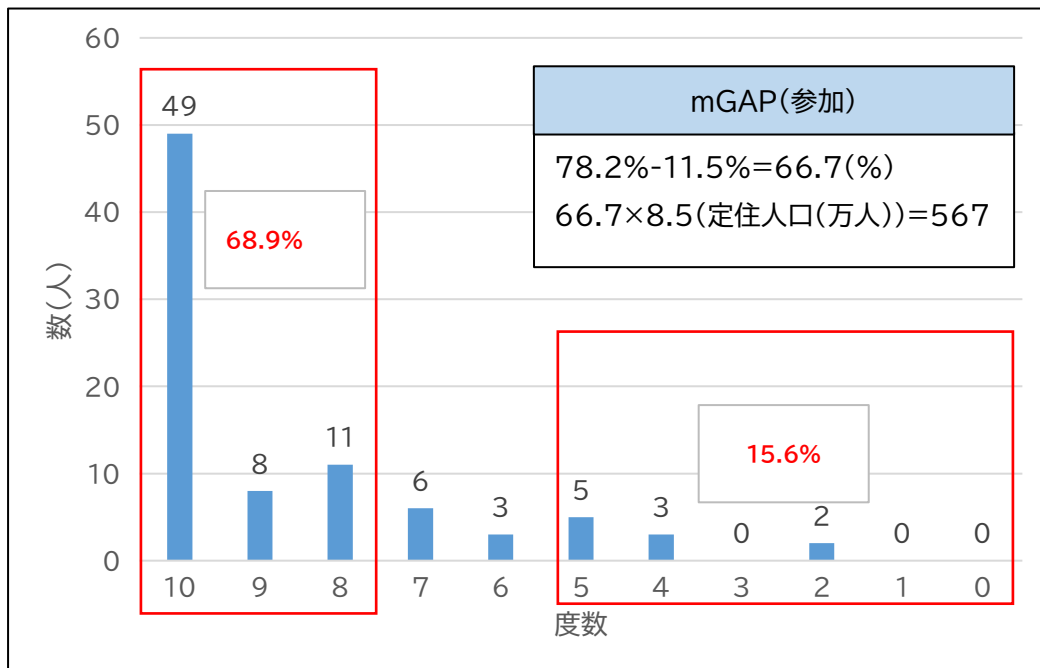
問4 このイベントをお友達におすすめしたいですか（おすすめ度を1つ選択）

<回答者数：86人>



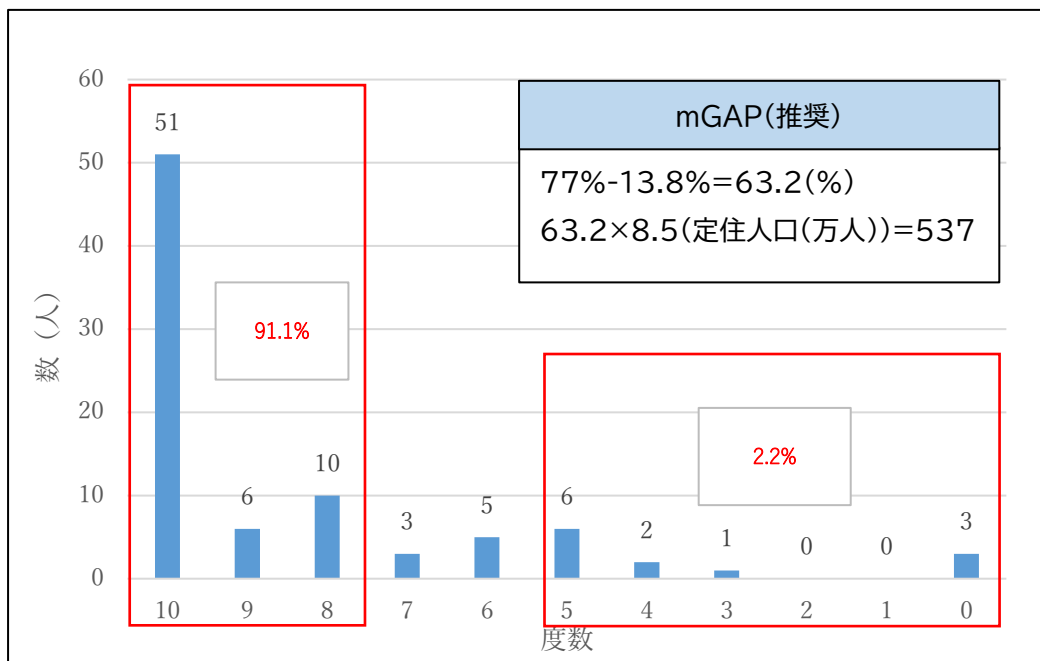
問5 市を良くするために、イベントに参加したり・活動に参加したいですか（活動意欲度を1つ選択）

<回答者数：87人>



問6 市をより良くするために活動をしている人に感謝の気持ちを表すとどの程度ですか（感謝度を1つ選択）

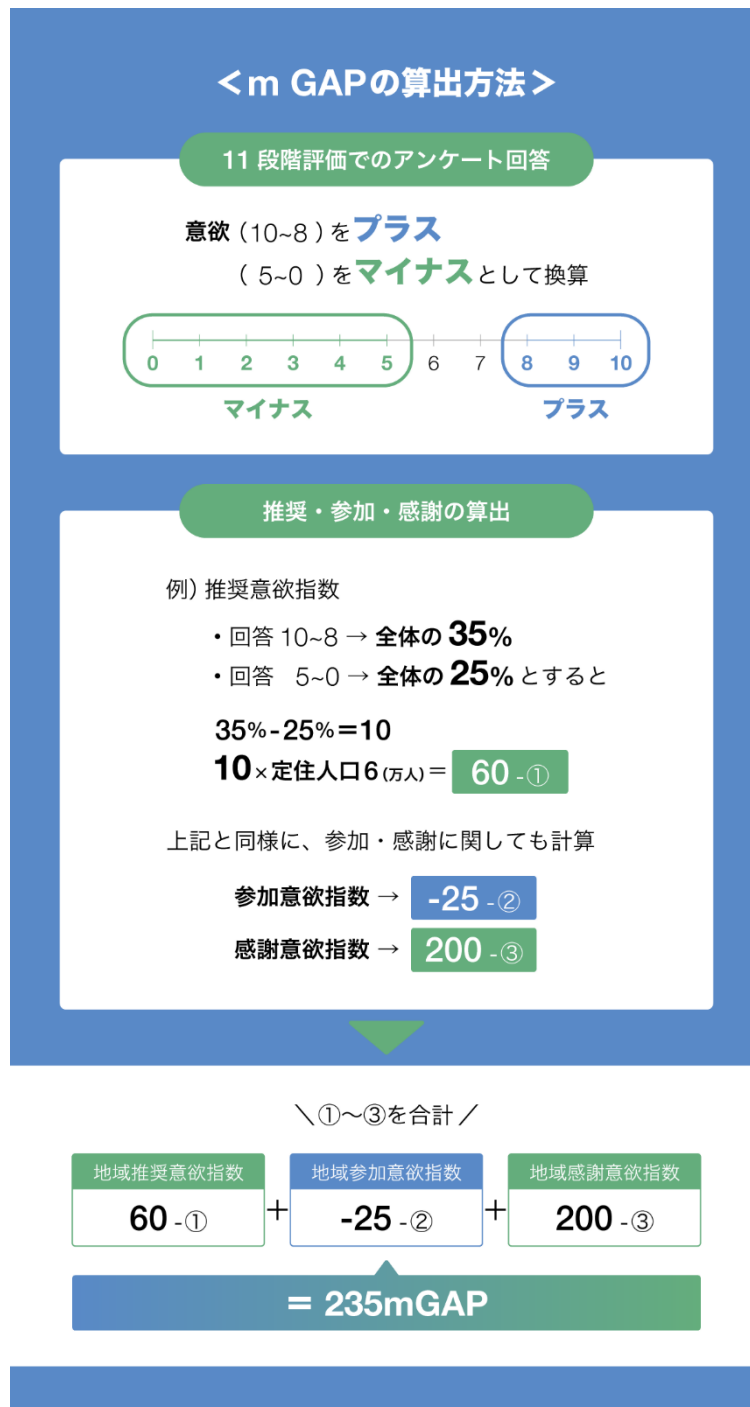
<回答者数：87人>



mGAP(総数)	
$415(\text{推奨}) + 567(\text{参加}) + 537(\text{感謝}) = 1,519$	

推奨・参加・感謝いずれも高く、指数の総計は1,519となりました。

※mGAP(修正地域参画総量指標)による指標について
 シティプロモーションの活動効果を定量的(数値)に可視化できる評価手法であり、「地域の推奨意欲」・「地域活動への参加意欲」・「地域活動への感謝意欲」の3要素でアンケート調査を実施し、調査結果から mGAP ポイントが算出されます。各度数のうち、10~8を上位とし、5~0 を下位とします。上位から下位を引いた数値に人口(当市であれば 8.5)を乗じた数値が mGAP 指数となります。mGAP 指数を経年で比較することによりシティプロモーション活動の活動効果を測定することが可能になります。



日本都市センター「シティプロモーションによる地域づくり-「共感」を都市の力に-第 14 回都市政策研究交流会」はしがきから引用

問7 最後に、このイベントに関するご意見やご感想がありましたら記入してください(回答任意) <回答者数：60人>

1. 全体的な満足感

多くの参加者が「楽しかった」「最高だった」「また参加したい」といった肯定的な感想を述べており、イベントが非常に好評だったことがわかります。

2. ユニークな体験や楽しさ

初めてガラスに絵を描いたり自由に色を塗ったりする体験が新鮮で楽しいと感じた参加者が多く、創造性を発揮できる点が評価されています。

自分だけの色を作る楽しさや、みんなで共同作業をする喜びも挙げられています。

3. 改善点や要望

「もっと自由に絵を描けると良い」「もう少し場所を塗れるようにしたい」「説明が少し長いところがある」といった改善の余地に関する意見が一部見受けられます。

4. 体験の影響

ガラスアートや色づくりなどの体験が印象に残り、このイベントが新しい挑戦や学びのきっかけになったという意見もあります。

他のイベントへの参加意欲を示す声や友達を誘いたいという言葉もあり、ポジティブな波及効果が見込まれることが伺えます。

5. 特筆すべきコメント

「5年後まで残ることが嬉しい」、「市役所を彩る貴重な体験」といったユニークなポイントに喜びを感じた声もあり、イベントの特別感が伝わっています。

今回のアンケートにおける mGAP 指数はいずれも高く、イベントを実施することによる参加者の地域への愛着醸成(シビックプライドの醸成)に寄与したと捉えられます。今後も市主催のイベントの際には mGAP 指数を用い、ブランド・プロモーションの効果を可視化することで、地域の魅力を向上させていきます。